

展示品の
みどころ

きちじょうてん りゅうぞう
吉祥天立像

重要文化財
木造 彩色
像高168.5cm
平安時代(10~11世紀)
京都 法明寺



笠置山の北麓を西流する木津川北岸に、茅葺きの薬師堂が目を引く法明寺が立つ。この寺の由緒を伝える史料は知られないものの、平安時代にさかのぼる5軀の仏像が、かつて当地にゆたかな仏教文化が展開したことを物語っている。

本像はそのうちの1軀で、宝冠を戴いて中国・唐代の頭官風の衣をまとう姿から吉祥天とされる。胸部から腹部にかけてのなだらかな肉どりや、体軀の起伏に沿ってあらわされた薄手の着衣に特色があり、前代の名残ともいべき整理された翻波式衣文を刻む点もふくめ、10世紀末から11世紀初めの作と位置づけられる。

像のほぼ中央に木心を籠めたカヤの一材から彫出し、内削りをほどこさない構造に古様を残すものの、構造・作風ともに同寺釈迦如来立像と似通う点が多いことから、両像は同時期に同一環境で制作されたと考えられる。ただし、顔立ちの相違について、釈迦如来像の頭部や面相に古代金銅仏の特色を取り入れた可能性が指摘されるのに対し、本像の小づくりな伏し目と平たい唇とがつくり出す平面的な顔立ちには、平安時代中ごろの特徴が明瞭にあらわれている。

同寺釈迦如来立像は、薬師堂伝来であることにくわえ、平安時代の釈迦如来が坐像を主流としたことを考慮すれば、もとは薬師如来だった可能性があろう。本像についても、左手を垂下する手勢が吉祥天に通有の屈臂して宝珠を載せるかたちとは異なるため、尊名に再考の余地があるように思われる。梵天ないし帝釈天とみるのも一案だが、仏教の善神の姿を借りて在来の神をあらわした、いわゆる天部形の神像である可能性も一考を要する。

山口 隆介 (当館学芸部研究員)

◆12月8日～平成28年3月14日 名品展「珠玉の仏教美術」にて展示

きたの てんじん えんぎ
北野天神縁起 巻中

重要文化財
紙本着色
縦33.4cm 長1334.3cm
鎌倉時代・永仁6年(1298)
兵庫 津田天満神社



学問の神様、「天神様」として広く信仰を集める菅原道真(845～

903)。すぐれた詩文の才と政治家としての腕を発揮し、宇多・醍醐天皇に重んじられ、一時は右大臣にまで昇るも、延喜元年(901)藤原時平の中傷によって筑前国(現在の福岡県)大宰府に左遷された。まもなく失意のうちに配所で没すると怨霊と化し、都の人びとに恐れられたという。

こうした道真の生涯を主題とする絵巻が、「北野天神縁起」という呼び名で数多く遺されている。そのうち本品は各巻末に、永仁6年(1298)藤原親泰が「天神社」に施入したものであることが墨書され、制作時期もこの頃と考えられる作例だ。

ここに挙げる場面は、左遷後の道真が高山で七日七夜、自身の無実を天道に訴えたところ聞き届けられ、「天満大自在天神」になるという劇的な一幕である。たなびく霞のなか、岩山の頂に束帯姿の道真がひとり立つ。頭上の白雲にいざ届けとばかり、祭文を高々と差し出している。その足元で山は青褐色の岩層が増殖するかのように突起し、ただならぬさまを表している。

経年退色を考慮しても幾分淡めの彩色は、描き込みを抑えた画面と相まって、全体的にさっぱりとした趣をみせる。画中の人物は的確な描線で表され、自然な体の動きが捉えられている。また、交互に並ぶ詞書と絵が別々の紙を用いるのではなく、基本的に同一紙上に表されていく形式はなかなか珍しい。手慣れた筆者が想定される、さええとした佳品である。

伊藤 久美 (当館学芸部研究員)

◆12月8日～平成28年1月11日 名品展「珠玉の仏教美術」にて展示

開館日時(10月～12月)

■開館時間/午前9時30分～午後5時
・おん祭お渡り式の日(12月17日)は午後7時まで
・正倉院展会期中(10月24日～11月9日)
月曜日～木曜日:午前9時～午後6時
金・土・日曜日、11/3祝:午前9時～午後7時
※いずれも、入館は、閉館の30分前まで

■休館日/毎週月曜日、10月23日(金)
・ただし、10月12日(祝)、11月23日(祝)、12月28日(例)は開館し、10月13日(火)、11月24日(火)は休館
※正倉院展の会期中は無休(青銅器館は休館)

観覧料金 名品展・特別陳列

	一般	大学生	高校生以下
個人	520円	260円	無料
団体	410円	210円	無料

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※団体は20名以上です。
※青銅器館は無料になります。 ※なら仏像館は、改修工事のため休館中です。

観覧料金

第67回 正倉院展

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,100円	700円	400円
前売・団体	1,000円	600円	300円
オータムレイト	800円	500円	200円

※団体は20名以上です。
※オータムレイトチケットは、閉館の1時間30分前から入場できる当日券です(当館当日券売場のみで、閉館の2時間30分前から販売します)。購入者には記念品を進呈します。
※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。



[交通案内]近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。

